

## 慶應義塾大学理工学部同窓会 幹事会 議事録

日時：2015年6月13日（土）14:00～15:00

場所：矢上キャンパス 創想館 地下2階マルチメディアルーム

出席者：落合正行会長、青山藤詞郎学部長（名誉会長）、内田勲最高顧問、鈴木譲治副会長、  
小尾晋之介副会長、中川陽一郎副会長（新）、佐藤誠一副会長（新）

川崎進、柘植秀樹 以上常任幹事 9名

高橋正子、田中敏幸、大森浩充、矢向高弘、高尾賢一、高田眞吾、小田芳彰、  
横森剛、山本崇史、安藤景太、松浦峻 以上学内常任幹事 11名

池田孝道、丸山照雄、大塚堅一、岸富也、村野繁、山田郁夫、渡辺康、前澤孝義、  
内田宏、阿曾芳夫、福川忠昭、金井一成、田中健彦、町並智也、西山繁、

本田郁二、太田英二、鈴木敏久、大木祐一、鬼塚信子、小山義之、須田裕之、  
中澤利彦、大石久巳、小畠りか、平沢光昭、金森紀博、田辺佑一、設楽久志、

鈴木 李夏 以上学年幹事 30名

（主席者の他に）委任者 63名

升田まゆみ同窓会事務局長

出席者 50名、委任者 63名 合計 113名 7分の1以上の出席（委任を含み）に  
より成立

- 資料：
1. 役員について
  2. 会則変更について
  3. 2014（平成26）年度決算報告
  4. 2015（平成27）年度予算案
  5. イベントのご案内

議題：

幹事会冒頭に落合会長から挨拶があった。

### 1. 役員について

小尾副会長より、下記の副会長の新任および常任幹事（学内）の交代の説明がなされた。

副会長（新任）：数原 英一郎（A-29）

渡邊 佳英（I-30）

田中 常雅（M-32）

中川 陽一郎（M-28）

佐藤 誠一（C-40）

常任幹事（学内）の交代：

遠山 元道（A-37）→ 高田 眞吾（E-48）

## 2. 会則変更について

小尾副会長より、配布資料に基づき、北里名誉顧問就任に伴う以下の会則変更について説明がなされた。

(平成 27 年 6 月 13 日 改訂)

### 第 4 章 会議

(旧) 第 20 条 本会は原則として年 1 回総会を開催する。幹事会の推薦により最高顧問・顧問を置くことができる。

↓

(新) 第 20 条 本会は原則として年 1 回総会を開催する。幹事会の推薦により名誉顧問・最高顧問・顧問を置くことができる。

## 3. 2014 (平成 26) 年度決算報告

小尾副会長より、配布資料に基づき、2014 年度の決算報告の説明がなされ、承認された。また、勘定科目変更について説明がなされた。

## 4. 2015 (平成 27) 年度予算案

小尾副会長より、配布資料に基づき、2015 年度の予算案の説明がなされ、承認された。また、奨学金事業について説明がなされた。

## 5. イベントのご案内

小尾副会長より、以下のイベントについて紹介がなされた。

- ・ 2015 年度「矢上賞」授賞式典ならびに講演会 (10 月 3 日)
- ・ 2015 年度慶應連合三田会大会 理工学部同窓会総会・特別講演 (10 月 25 日)
- ・ 第 16 回慶應科学技術展 KEIO TECHNO-MALL2015 (12 月 4 日)

出席者からのコメント：

- ・ 奨学金について、もう少し詳しく聞きたい。

→ (小尾副会長) 50 人以上の応募があった。名称は「慶應義塾大学理工学部同窓会奨学金」であり、理工学部同窓会の名前が冠してあるが、実際には大学が運営しており、選考にはタッチしていない。理工学部 2 年生以上の学部生が対象で、年額 60 万円を 1 年間給付する。経済的困窮度が高く、成績優秀な学生が対象。

- ・ 3000 万円を理工学部 75 周年記念事業に寄付した件についてのコメントを聞きたい。

→ (落合会長) 3000 万円の募金に関する銘板が矢上キャンパス 34 棟 2 階に掲示されてお

り、第1期～第72期までが記載されている。また、計6000名を超える同窓会員から募金があったとのことで、青山学部長と真壁常任理事からお礼の言葉をいただいた。4年にわたる募金活動で、無理だと思われていた目標額が達成できたことは、同窓生の盛り上がりがあったこと。

→（内田最高顧問）ここにいる常任幹事の皆様の大変な努力で当初の目標が達成できた。常任幹事全員、そして常任幹事を通じて同窓会員全員にお礼を述べたい。

・寄付が建物に使われたと知り合いに言われたが、具体的な使途はどのようになっているのか？

→（青山学部長）本年1月に記念事業委員会と募金委員会があり、これで解散となった。全てで約12億7千万円（キャッシュでも約11億円）が集まった。5億は国際人材育成基金の原資となり、その内1億円は資金として活用し、残りの4億円は基金に積み立て利回りは約3%を見込んでいる。昨年からは動いており、年に約2000万円を国外に出る学生の支援に充ててすでに運用を始めている。残りの約5億円は34棟、テクノロジーセンターの教育用の整備に使われている。34棟そのものは慶應義塾大学150周年記念の事業等で建っているが、建物内に必要な備品等の整備に充てられている。2014年9月に75周年記念の募金口座は閉じたが、今後も国際人材育成基金として募金をつのっている。既に一千万円を超える金額が集まっている。理工学部同窓会による奨学金の運営も始まっている。理工学部同窓会の全ての会員からの多大なご支援に対し、厚く御礼を申し上げる。

・10月3日の後は懇親会の予定はあるのか？幹事会の予定はあるのか？

→（小尾副会長）懇親会は予定している。幹事会は未定。

・矢上祭はいつか？

→（小尾副会長）10月10、11日が矢上祭の予定。

・同窓会のニュースレターのメールについて、宛先はどちらになっているのか？同期に転送する必要はあるか？

→（小尾副会長）名簿ウェブシステムに会員が自ら登録したアドレスにのみ送っている。